

令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）の結果概要

大阪府教育庁

○内容

・中学校第3学年：国語、社会、数学、理科（選択問題A・B）、英語
生徒アンケート

○対象

・府内の市町村立中学校、義務教育学校後期課程
及び府立中学校並びに支援学校中学部の第3学年

○実施校数(9月2日実施分)

・468校

○実施生徒数(9月2日実施分)

・57,776人

中学校3年【国語】

平均点

64.2点

無解答率

6.8%

実施生徒数： 57,423人

良好

- 助詞の働きについて理解すること。
- 文章の内容をふまえて、文章の構成や役割を考えること。

課題

- 情報と情報との関係について理解すること。
- 目的や意図に応じて伝えたいことを根拠を明確にして話すこと。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★ 文章を読むときは、内容のまとまりを意識して読むようにしましょう。
- ★ 自分の考えを話すときは、話す内容に用いる根拠が自分の立場や考えを支えるものとしてふさわしいかどうかを考えましょう。

中学校3年【理科A】

平均点

48.1点

無解答率

10.0%

実施生徒数： 11,870人

中学校3年【理科B】

平均点

46.0点

無解答率

11.0%

実施生徒数： 45,789人

良好

- 骨と筋肉のはたらきについて理解すること。
- 再結晶について理解すること。

課題

- 溶解度のちがいが起こる現象を、溶解度曲線と関連付けて思考し、表現すること。
- 記録された波形から、弦の1回の振動にかかる時間を求め、その時間から弦の振動数を求めること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★ 学習で学んだことと日常生活での体験を結び付けることで、理解を深めましょう。
- ★ 実験や観察を行うときは、予想や仮説を設定し、実験結果をもとに、予想や仮説が正しかったかなどについて、考察しましょう。その際、モデルを用いて考えたり、規則性を見いだしたりするようにしましょう。

中学校3年【英語】

平均点

53.2点

無解答率

7.4%

実施生徒数： 57,690人

良好

- 日常生活における会話文やまとまりのある英文から、要点や話し手の意向などを聞き取ること。
- 正しい文を書くために、語や文法事項等を理解すること。

課題

- 与えられた情報を基に、正確に文を書くこと。
- まとまりのある英文を読み、読み取った情報を整理し、必要な情報を捉えること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★ 文法はコミュニケーションを支えるものです。個別の文法事項を理解することだけに留まらず、文法事項を定着させる練習と、実際のコミュニケーション場面での使用（自分の考えや気持ちを書くなど）のサイクルを繰り返すようにしましょう。
- ★ まとまった英文を読むときは、目的や場面、状況などに応じて、学習した文法や語彙、文章中に使われているイラストや写真、図表などを参考にして、おおよその意味を予想しながら読んでみましょう。

中学校3年【社会】

平均点

51.2点

無解答率

6.5%

実施生徒数： 57,776人

良好

- 地形図から様々な情報を読み取ることや、それを基に考察すること。
- 沖縄の返還など、歴史に関わる事象に関する基礎的・基本的なことから理解すること。

課題

- 地理に関わる事象について、資料から読み取ることができる情報をふまえて考察し、既習の知識も活用して説明すること。
- 歴史に関わる事象について、推移や相互のつながりに着目して考察すること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★ 複数の資料を比べたり、資料の内容を関連させたりして、資料から読み取った情報を基に考察し、表現してみましょう。
- ★ 歴史上の出来事は、いつ、なぜ、どのようにして起きたのかについてその関係やつながりに着目して、考察してみましょう。

中学校3年【数学】

平均点

53.9点

無解答率

12.1%

実施生徒数： 57,590人

良好

- 正の数と負の数の計算や数量の大小関係を不等式に表すこと。
- 図形についての基礎的な概念や性質を理解すること。

課題

- グラフの座標から読み取れることについて、解釈したり、説明したりすること。
- 箱ひげ図からデータの分布の傾向を比較して捉え、そこから考えられることと、その理由を説明すること。

【これからの学習に向けたアドバイス】

- ★ 数量の関係を表したグラフを読み取るときは、縦軸や横軸が何を表しているのかや、グラフ同士の関係について考えてみましょう。
- ★ 日常の事象を題材に、四分位範囲や箱ひげ図などを用いて複数の集団のデータを比較し、そこからどのようなことが言えるのかを考えてみましょう。

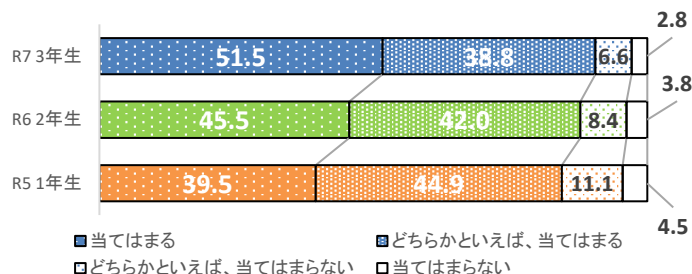
令和7年度中学生チャレンジテスト（3年生）の生徒アンケート結果

※それぞれのグラフに、その他・無回答の数値は示していません。

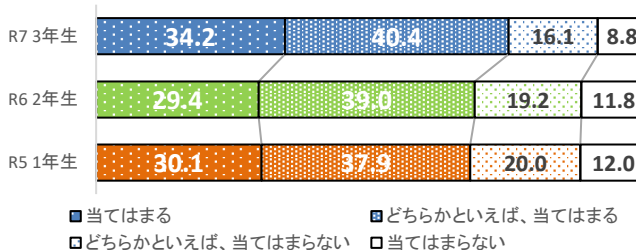
アンケート項目の中から、普段の学習や生活の中でみなさんが取り組んだり意識したりしてほしいことを以下に取り上げました。これらのアンケート項目において、肯定的な回答をしている生徒ほど教科のテストの平均点が高い傾向が見られます。みなさん自身の状況を振り返り、ぜひこれからの学習や生活の参考にしてください。なお、3段に並べたグラフのうち、下段は2年前（1年生時）に実施したアンケートの結果、中段は1年前（2年生時）、上段は今回（3年生時）のアンケート結果のグラフです。2年前からの全体の変化も、自分の結果と比べときの参考にしてください。

学習するときに意識しよう

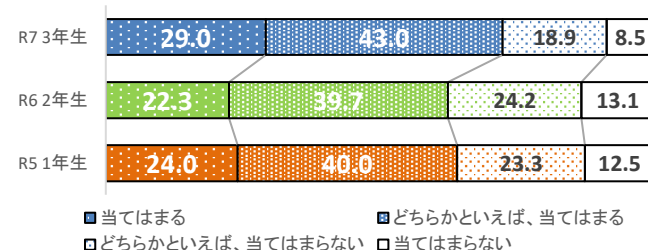
■ 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。



■ わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。



■ 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。

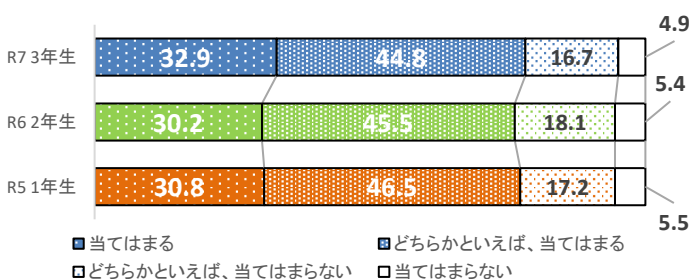


学習の成果をより確かなものにするためには、「自ら進んで学ぶ」主体的な学びが必要です。上に挙げた3つの項目は、主体的な学びにつながる大切な項目です。いずれの項目においても、半数以上の生徒が肯定的に回答し、特に「文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる」という項目については、3年生では90%以上の生徒が肯定的な回答をしています。また、学年が上がるほど肯定的な回答が増えており、主体的に学ぶ姿勢が身に付きつつあることが分かります。

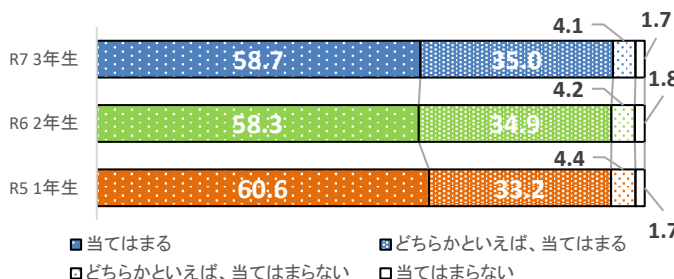
みなさんは、わからないことや苦手なことに出合ったとき、考えることをあきらめそうになったことはありませんか。わからないことや苦手なことに向き合い、調べたり考えたりすることは決して簡単なことではありませんが、粘り強く学習を進めていくことで、必ず自分の力になります。ぜひ、上に挙げた3つの項目を意識して、日々の学習に取り組みましょう。

学校や普段の生活で意識しよう

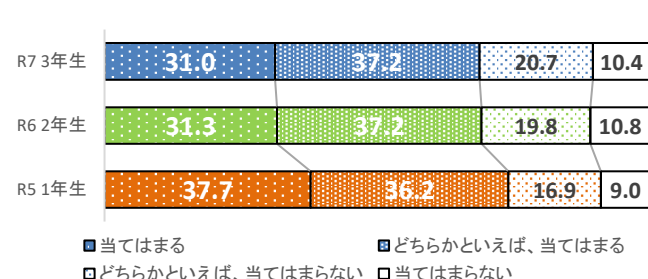
■ 難しいことがあっても、あきらめない。



■ 学校などで、他の人と協力し合えることができる。



■ テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。



「難しいことがあっても、あきらめない」という項目や、「学校などで、他の人と協力し合えることができる」という項目については、多くの生徒が肯定的な回答をしています。難しいことにあきらめずに取り組む姿勢は、粘り強く学習に向き合う姿勢につながります。また、他の人と協力しようとする姿勢は、協働して課題に取り組むときに役立ちます。引き続き、学校や普段の生活で、この2つの項目を意識してみましょう。

一方、社会的な出来事に関するニュースを見ていない生徒が、学年が上がるにつれて増える傾向があることがわかりました。ニュースを見ることは、今まで知らなかったことに出会うことができ、物事の見方や考え方が広がる良い機会です。物事の見方や考え方が広がれば、学習内容をより深く考え理解することにつながります。まずは、短時間でもニュースを見る習慣をつけてみましょう。

